

第1部 子ども・若者の状況

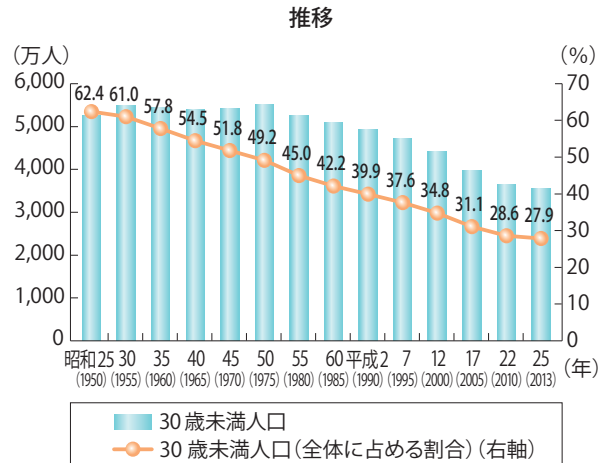
第1章 人口

第1節 人口

1 現状と推移

○30歳未満人口は、昭和50（1975）年以降、ほぼ一貫して減少。（図表1）

図表1 30歳未満人口

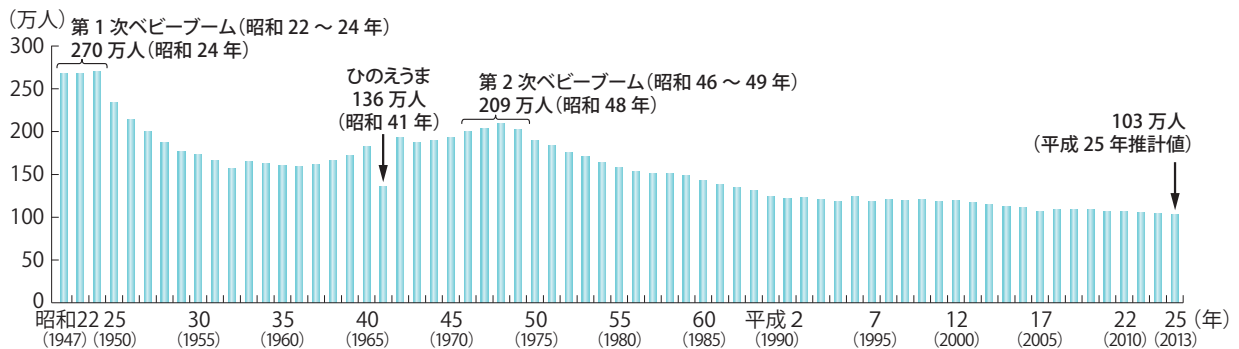


2 人口動態

（出生）

○出生数は、緩やかな減少傾向が続く。（図表2）

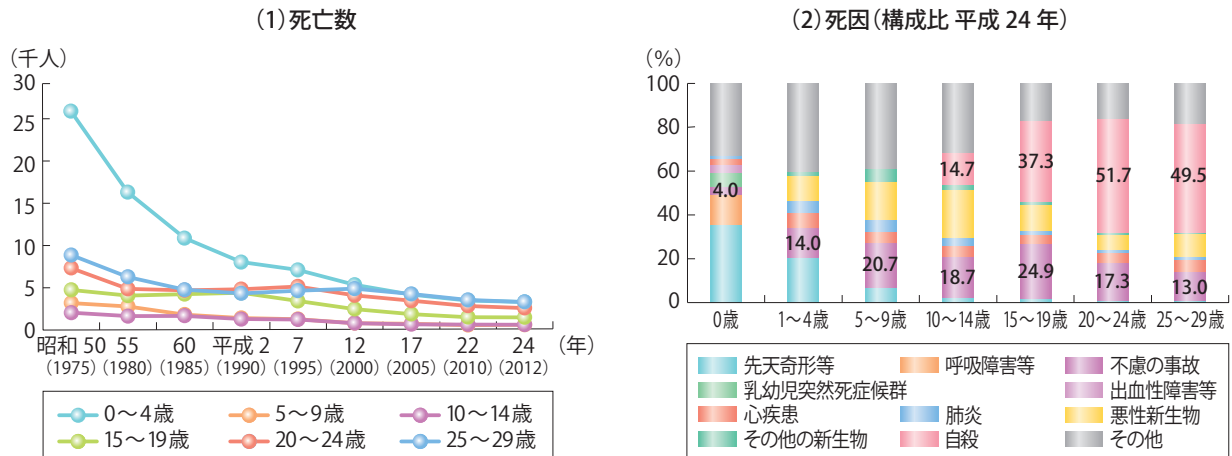
図表2 出生数



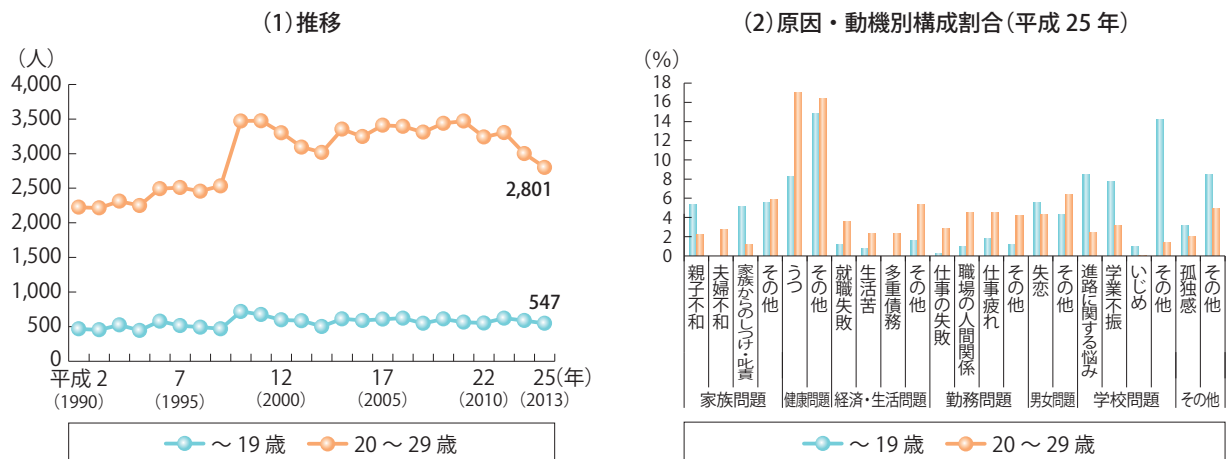
(死亡)

- 死亡数は、25～29歳が最も多く、次いで0～4歳。死因は、10代前半までは不慮の事故などが多く、10代後半以降では自殺が多くを占める。(図表3)
- 警察が把握した30歳未満の自殺者数は3,348人。原因・動機をみると、「うつ」などの健康問題が多く、19歳以下では学校に係る問題も多くを占める。(図表4)

図表3 死亡数



図表4 自殺者の状況



第2章 健康

第1節 発育

1 体格

- 身長はおおむね横ばいである一方、小学生・中学生の体重が減少傾向。(図表5、図表6)